

3-2

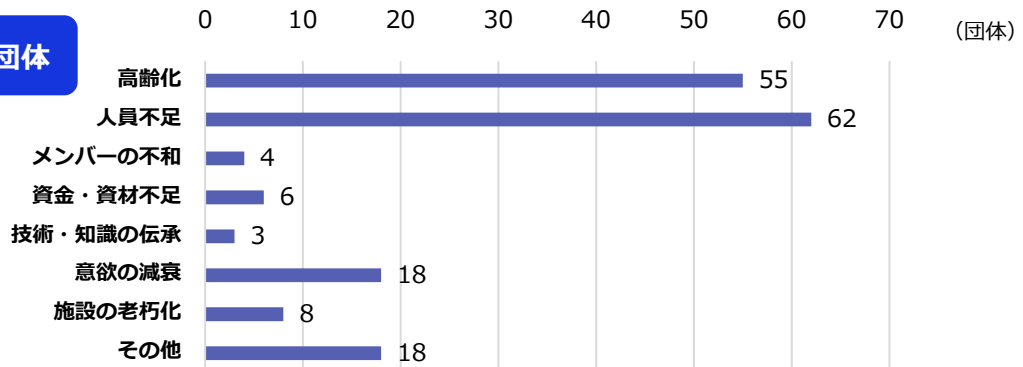
「みどりの市民力」のネットワークをつくる

■ 施策の考え方

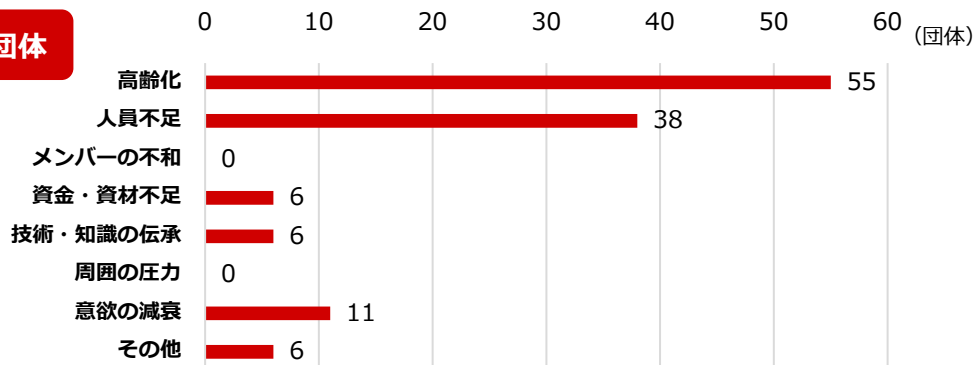
市内の花壇活動団体、里やま活動団体、公園等管理活動団体などの「みどりの市民力」を支える市民活動団体は、これまでの実績により市の内外から大変高い評価を受けています。しかしこれらの団体へのアンケート結果からは、メンバーの高齢化や人員不足などの理由により将来的な活動の継続への不安がうかがい知れ、このままでは「みどりの市民力」は徐々にしぼんでしまうことも考えられます。

そこで、「みどりの市民力」を支える市民活動団体間の連携に加え、大学との連携や事業者などとの関わりを深め、より広く多様性に富んだネットワークを形成することで、それぞれが持つ課題の解決を図り、みどりの利活用を促進します。

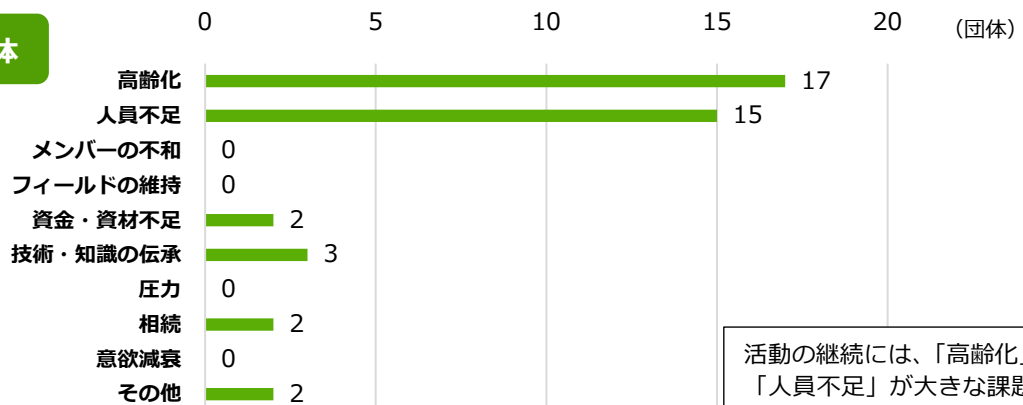
公園等管理活動団体



花壇づくり活動団体



里やま活動団体



活動の継続には、「高齢化」と「人員不足」が大きな課題となっている。

活動の継続を困難にしている事から・理由 (出典：H30年度 市民活動団体アンケート)

(1) みどりの市民力を支える市民活動団体などの連携

重点

様々なみどりの利活用を促進するために、「みどりの市民力」を支える市民活動団体などの連携を推進し、ネットワーク化を図ります。

①市民活動団体の情報共有の場の確保

- 活動の実態や課題を把握するために、継続的にアンケートやヒアリングを実施します。
- 団体間の情報共有にとどまらず、市民や事業者、学校などがいつでも情報を得られるように、市民活動団体の情報集約と積極的な発信に努めます。
- ジャンルの異なる活動間の交流を活発にするために、みどりの市民力全体の情報交換の場の確保に努めます。

②みどりを利活用する団体との連携

- 花壇活動団体や里やま活動団体などのみどりの市民活動団体と、趣味や子育て、高齢者支援、環境教育、研修、地域貢献活動などでみどりの利活用を望む市民活動団体や企業、学校などとの連携により、本市のみどりの価値を高めるよう、みどりの利活用を促進します。

③大学との連携

- 千葉大学や聖徳大学、流通経済大学など市内の大学と連携し、みどりの保全と利活用を实践する取り組みを推進します。



アートパーク

聖徳大学が主催し、大学・地域・行政が連携して開催するアートプロジェクト。松戸中央公園を舞台に、大学や地域・保育所・NPOなどの団体が協力して、公園の新たな活用方法や外遊びの大切さを提案し、絵の具やダンボールなどを使ったアートイベントを開催しています。普段、学校や公園ではできないような遊びの体験を通じて、子どもたちの創造性を育み、地域のつながりを創出しています。



松戸アートピクニック

21世紀の森と広場の豊かな自然を舞台に、松戸市が教育委員会や複数の大学、芸術家の方々と連携して、現代アートをきっかけに多様な文化的価値を創造する芸術祭として開催しています。

松戸みどりのフォーラム

松戸市みどりの基本計画の策定にあたり

樹林地を守る活動、草花でまちを彩る活動、公園の掃除などを行う活動など、本市のみどりを支える「みどりの市民力」の取り組みは市内外で高い評価を受けています。しかし今、この「みどりの市民力」は、「高齢化による活動の担い手不足」「資金不足」「活動の縦割り」など、今後の活動の継続にも関わる大きな問題を抱えています。そこで「みどりの市民力」を支える市民活動団体相互の理解を深めることと、その交流から起こるイノベーションに期待し、松戸市緑推進委員会が中心となり「松戸みどりのフォーラム」を開催しました。

このフォーラムに参加した千葉大学の学生からは、「スキル・世代・活動内容の異なる団体が集まることで新しいアイデアが生まれる」「出会いは新たな活動のモチベーションになる」「地域のひととのコミュニケーションを通じて仲間意識が芽生える」などの感想がありました。また、緑推進委員会の柳井会長の総括では、「みどりの基本計画をつくっても、実現させなければ意味がない」「市民力をパワーアップするためにも、市民活動のプラットフォーム的な機能が欲しい」とのお話がありました。

合計 26 団体、70 名の方々が参加した「松戸みどりのフォーラム」は、地域のみどりを舞台に活動する様々な団体が初めて一堂に会した催しになりました。「また開催してほしい」と参加者の期待も高く、とても有意義なフォーラムとなりました。

松戸みどりのフォーラム

- 開催日時 2019年(令和元年)6月29日(土) 13:00~16:30
- 開催場所 千葉大学園芸学部創立100周年記念戸定が丘ホール
- プログラム
 - ①コミュニケーションタイム
会場内に展示した各団体の紹介パネルやチラシを見ながらの自由時間
 - ②千葉大学「みどりの回廊ワーキンググループ」の活動発表(5団体)
 - ③「松戸市みどりの基本計画」についての説明(みどりと花の課)
 - ④市民活動団体の発表(11団体)
 - ⑤今日の感想
 - ⑥松戸市緑推進委員会会長 総括

参加団体

- ・千葉大学「みどりの回廊ワーキンググループ」
- ・聖徳大学(パネル展示)
- ・里やま保全活動団体
- ・花壇づくり活動団体
- ・公園管理等活動団体
- ・みどり利活用団体

計 26 団体 70 名参加



千葉大学学生の発表



各団体の発表



柳井会長による総括



コミュニケーションタイムの風景(パネルを見る人や活動団体と学生などの交流)

(2) みどりの市民力を支援する体制づくり

重点

「みどりの市民力」による活動の効果をより高め広めるために、ひと・みどり・まちをつなぐプラットフォームを構築するとともに、「みどりの市民力」を支援する体制を強化します。

①ひと・みどり・まちをつなぐ新たな仕組みの構築

- ひと・みどり・まちをつなぐみどりの市民活動などのネットワークをみどりのプラットフォームとして位置づけ、プラットフォームを活用することにより「みどりの市民力」全体を活性化させることで、本市のみどりの利活用の促進を図るとともに、みどりの価値を高めていきます。
- みどりのプラットフォームには「みどりの市民力」を支える市民活動団体やみどりを利活用する団体、また本市のみどりを側面から支援する企業や学校など、それぞれの特性に応じた各主体の参画を目指します。
- みどりのプラットフォームを有効に機能させるための新たな仕組みを検討します。
- みどりのプラットフォームの活用においては、松戸市緑推進委員会や（公財）松戸みどりと花の基金、行政がそれぞれの特性に応じた支援をします。
- みどりのプラットフォームを有効に機能させるための新たな仕組みのために、必要に応じた組織化と、組織の強化を図るために都市緑地法に基づく「みどり法人」の指定などによる法人化を検討します。



みどりのサロン部会における
みどりのプラットフォームの検討

みどり法人（緑地保全・緑化推進法人）

- 都市緑地法に基づき、地方公共団体以外の NPO 法人やまちづくり会社などの団体がみどり法人として緑地の保全や緑化の推進を行う制度です。
- みどり法人は、市長が指定するもので、民間団体や市民による自発的な緑地の保全や緑化の推進に対する取り組みを推進するものです。

②（公財）松戸みどりと花の基金による「みどりの市民力」への支援の充実

- 個々のみどりの市民活動団体の支援にとどまらず、みどりプラットフォームを含めた「みどりの市民力」全体を支援するための機能の充実を図ります。

■ひと・みどり・まちをつなぐみどりのプラットフォームのイメージ

みどりのプラットフォーム

ーひと・みどり・まちをつなぐー

